

2016年3月18日

JR東日本秋田支社

秋田市泉地区太陽光発電所の運用を開始します

- JR東日本では、北東北の「再生可能エネルギー基地」化を目指し、2015年9月より秋田県秋田市泉地区にて、秋田支社で3箇所目となる太陽光発電設備の設置工事を進めてまいりました。この度、パネル設置工事が完了し、2016年3月24日より運用開始いたしますので、お知らせします。
- 本発電所は、社内の技術開発により、既存のレール等を撤去せずに太陽光パネルの基礎として活用しています。役割を終えたレールに、施設の有効活用とともにCO2削減、地球環境の保護など新たな意義を付加するものです。
- 本発電所の運用開始に合わせて、地域貢献できる施策として、追分鉄道設備技能教習所（なまはげ）内の発電量表示ディスプレイに追加表示します。

1 設置箇所および設備概要

- ・奥羽本線 秋田駅・土崎駅間 旧秋田運転支所跡地内
- ・名称 秋田泉太陽電池発電所
- ・設置面積 約25,000㎡
- ・定格発電出力 約1,300kW
- ※想定年間発電電力量 約170万kWh
(一般家庭約470世帯分に相当)

(発電量表示ディスプレイイメージ)



(位置図)



2 運用開始時期

2016年3月24日

3 その他

太陽電池発電所運用開始に伴う開所式を行います。

- ・日時 3月24日(木) 10時30分から
- ・場所 秋田市泉菅野地内(旧秋田運転支所跡地内)
奥羽本線秋田・土崎間泉踏切に案内担当者を配置します。
(車両の入出場は、左折のみとなります。)
- ・主な出席者

(設置状況)



JR秋田支社 白石敏男支社長、JR東北工事事務所 竹内研一所長

日本電設工業(株) 金子富雄本部長、東日本電気エンジニアリング(株)秋田支社 畠山俊次長

